

平成31年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史 B	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高校日本史 B 新訂版 (実教出版)						
副教材等	山川ビジュアル版日本史図録 (山川出版社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・過去から未来へ、人間の営みの継続性・時間軸を感じる。
- ・歴史的事象に「なぜ」という視点を持つ。
- ・過去の日本の歴史をふまえ、現在の日本の在り方を考える。

2 学習の到達目標

- ・写真や図など、諸資料に親しみ、歴史に興味関心をもつ。
- ・現代の諸課題について、歴史的観点から考察することができる。
- ・日本の歴史文化遺産への理解を深め、国際社会で主体的に友好的に生きる資質を養う。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観 点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:資料活用の技能	d:知識・理解
観 点 の 趣 旨	原始～戦国時代における歴史的事象に対する興味関心を高め、意欲的に追究する。また日本の文化遺産への理解を深め、尊重する。	歴史的事象や現代日本の諸課題を歴史的観点から考察し、公正な判断力をもって問題を捉え、適切に表現する。	諸資料から原始～戦国時代に関するものを判別し、それらの資料から情報を選択して、読み取ることができる。	原始～戦国における歴史的事象の基本的知識を、時代の流れ・変化・進歩と関連付けて身に付けている。
評 価 方 法	ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	定期考査
	〔主題学習〕 振り返りシート	〔主題学習〕 振り返りシート 歴史新聞の作成	〔主題学習〕 振り返りシート 歴史新聞の作成	〔主題学習〕 振り返りシート
	※「主題学習」とは主題を設定して行う学習活動で、適切な時間を確保して行う。			
上に示す観点に基づいて、定期考査・学習のまとめりに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。				

4 学習の活動

学 期	名 単 元	学 習 内 容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価 方法
			a	b	c	d		
1 学 期	原始 く ヤマト政権の 成立と発展	<ul style="list-style-type: none"> ・旧石器時代 ・縄文時代 ・弥生時代 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマト政権の成立と古墳文化 ・ヤマト政権の成長と飛鳥文化 	○			○	a: 日本列島の人類がどのように生活文化を 発展させ、政権を樹立し、周辺諸国との 関係の中で、仏教文化を取り入れ成立さ せたかという生活・精神文化の発展を 主体的に捉え、興味・関心を高めようと している。 b: 設定された主題について、多面的・多角 的に考察し、その過程や結果を適切に表 現している。 c: 事例の考察に必要な諸資料を資料集など から選択し、有用な情報を選び取って、 読み取ったり図表などにまとめたりして いる。 d: 設定された主題について、歴史的な流れ からその事象を理解し、知識を身に付け ている。	定期考査 ワークシート 振り返りシー ト
	律令国家の 成立と推移	<ul style="list-style-type: none"> ・大化の改新 <ul style="list-style-type: none"> ・奈良時代 平安時代	○	○	○	○	a: 乙巳の変以降の律令国家＝中央集権国家 の体制作り、その崩壊・変化が、どのよ うに展開したのか、考察し、政治史だけ ではなく庶民の生活も含め多角的に時代 を捉え、興味をもつ。 b: 設定された主題について、多面的・多角 的に考察し、その過程や結果を適切に表 現している。 c: 資料集などから必要な諸資料を見分け、 有用な情報を選択して、読み取ったり図 表などにまとめたりしている。 D 大化の改新～平安時代におこなわれた国 家中心にその頃の歴史的な事象やなぜそれ がおこったのかなど、時間軸に沿って理 解し、その知識を身に付けている。	定期考査 ワークシート 振り返りシー ト

2学期	中世	・院政期～鎌倉幕府の成立・発展・衰退	○	○			a ; 院政期から武家政権の成立・発展・衰退の流れを理解し、歴史的事象生起の理由や必然性について興味・関心をもつ。	定期考查 ワークシート
		・建武の新政と室町幕府の成立	○	○	○	○	b ; 武家政権成立に至った理由・経緯などを、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に捕らえ表現している。	
		・室町幕府;全国支配の展開と幕府全盛期日明貿易と北山文化	○	○	○	○	c : 御成敗式目・元寇・二条河原の落書・日明貿易などの有用な情報・史料を選択して、内容を読み取ることができている。 d: 院政期～室町幕府全盛期に至る時代の流れ・変化の基本的な事柄を、周辺視よ国の動きと関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	
2学期	下克上の社会と庶民の台頭 戦国時代へ	・貨幣経済の発達と惣村の成立・発展	○	○		○	a: 日本史上初めて庶民が一揆をおこす。その背景としての貨幣経済の発達や惣村の成立をふまえて、社会の変化への興味・関心を高め、意欲的に追究しようとしている。	定期考查 ワークシート
		・土一揆の展開と幕府の衰退・	○	○		○	b: 土一揆・国人一揆・一向一揆などのさまざまな一揆を経て従来の社会秩序が崩壊し、民衆・武士により新しい社が構築される。その経緯を多面的・多角的に考察し、表現できる。	
		・応仁の乱と東山文化	○	○	○	○	c: 現代において「日本的文化の典型」として受け継がれる文化の原型「東山文化」は、室町幕府の衰退期に生まれた。「東山文化」の諸資料を収集し有用な情報を選択して「時代の精神」を表現することができる。	
		戦国時代	○			○	d ; 応仁の乱から戦国時代にかけて、乱の意味や戦国大名とその支配の基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	

3 学期	安土桃山時代と文化	・織田信長の登場と業績	○	○		○	a: 日本史上有数の人気を誇る、織田信長・豊臣秀吉の人物・業績に対する興味・関心をさらに高め、主体的に人物像に迫る態度を身につける。 b: 農民出身の豊臣秀吉は、農民ならではの細心の気配りで家臣・諸大名を従え、農民支配を行った。その巧みな方法について歴史的観点から考察し、理解して表現する。 c: 豊臣秀吉の「朝鮮侵略」が、豊臣政権の崩壊を招いただけではなく、明の滅亡、さらには、明治維新後の韓国併合にまでつながっていることを資料から読み取ることができる。 d: 飛鳥文化以来長く展開してきた仏教文化を脱した桃山文化について理解し、その作品に親しみ、基本的知識を身につけている。	定期考査 ワークシート
	持続可能な社会への展望	〔主題学習〕 ・課題の設定 ・調査方法 ・資料収集 ・成果報告	○	○	○	○	a: 現代の日本が抱える諸問題を、日本が古来より周辺地域、特に中国と挑戦半島の先進技術・文化を取り入れ、消化・吸収して日本文化・社会を形成・発展させてきたことを、歴史的観点に基づいて意欲的に追究しようとしている。 b: 現代の日本が抱える諸問題を、諸外国との関係を踏まえた歴史的観点から考察し適切に表現している。 c: 現代の日本が抱える諸問題を、古来以来の国際関係の中から探り、必要な情報を収集し図表にまとめたりしている。 d: 現代の日本が抱える諸問題に関する歴史を踏まえた知識を身に付けている。	レポート 振り返りシート

※ 表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c: 資料活用の技能 d: 知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。